



美術系の 進路選択って???

ToBeeeeeeeeee

MOTOMACHI SOZOHYOGEN SINRO-TSUSIN

2021.06.30 vol.002

美術系の進路選択ってどう決めればいいのか？

現在3年生は、それぞれの進路へ進むために険しい道りを通り抜けている真っ最中。そこにはこれまでの活動や取り組みの中でみえてきた自分の将来のビジョンが背景にあります。進路について考えることは全学年共通してとても大切なことです。この記事のひとつの機会として、改めて自分自身と向き合ってみましょう。



Beeeeeeeeee 次郎

そもそもなんで大学や専門学校へ行くの？

→ 「大学やその他の学校は、**将来自分がやりたいことへつなげるステップアップの場所!**」

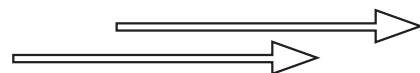
大学や専門学校は自分が何をしたいのか・どう生きるのかを、今よりさらに具体的に考え、学びを深めることができる場所であると言えます。よくありがちなのは希望通りの進路にすずんで満足してしまうパターンです。**あくまで大学は通過地点。進学すること=ゴールにならないような進路選択**をしましょう。

特に、美術系大学の多くでは「～をなさい」といった課題が学年が上がるにつれて少なくなっていきます。つまり、自分がどうしたいのかという明確なビジョンを持っていないとただ進学しただけ…。で終わってしまう可能性があるということです。では実際に自分の進路をどう考えていけばいいのでしょうか？

進路選択の鍵は将来をイメージすること

進路選択において重要なのは**自分自身と向き合い、将来の具体的なイメージを持つこと**です。自分自身とその大学・学校へ入って何がしたいのか？それは自分の未来へつながっているのか？ 何度も自問自答をして固めていきましょう。

「なんとなく家から近いから・・・」「なんとなく聞いたことがあるから・・・」で決めてしまうのはもったいない!どんなきっかけでもいいので実際に調べてみて、色々な情報を集めて吟味していきましょう。また、進路は1人で勝手にすすめる話ではありません。周りの人に相談することも重要なポイントです。**特に保護者・担任の先生とはしっかり話し合っ**て納得する選択ができるように心がけましょう!



美術系進学先まとめ

下の3つは私の個人的な見解から美術系の進学先をまとめたものです。ここからさらに細かく、この学校ではこんなことができる！とか。この学校の就職先にはこんなところがある！など。それぞれの視点から希望する進路先を絞っていき進路選択につなげていけるといいでしょう。(一般大学に関しては担任の先生・進路指導部の先生に聞いてみてください。)(文：美術科 眞野)

国公立美術・芸術大学

現在、日本で美術に関わる学部(教育学部を含む)がある国公立大学は27校あります。(スタディサブリ進路調べ)

国公立大学のポイントとしては私立・専門学校と比べ**学費を安く抑える**ことができること。また一概には言えませんが、学部内の学生の人数が私立・専門学校に比べ少なく、**教授と近い距離で関わる**ことができることがあげられます。

入試においては、学校・募集人数の母数が非常に少ないことも相まってとても人気が高く、高校3年間の中でしっかりとした対策・取り組みをしないと合格に結び付けるのは難しいとされています。

(例 広島市立大学・東京藝術大学など)

私立美術・芸術大学

現在、日本で美術に関わる学部(教育学部を含む)がある私立大学は95校あります。(スタディサブリ進路調べ)

私立大学のポイントとしては学費がかかる反面、**充実した設備が整っている**こと。学部・学科が非常に細かく分類されており、専門的な指導を受けることができること。**就職に関して独自のパイプ**を持っていることが多く、就職に有利な点があげられます。

入試においては、学校によって人気の幅が大きく、関東人気私大を受験しようと思うと国公立同様にしっかりとした対策・取り組みをしなければ難しいとされています。

(例 多摩美術大学・武蔵野美術大学など)

専門学校・専修学校

現在、日本で美術に関わる学習ができる専門学校は156校あります。(スタディサブリ進路調べ)

専門学校のポイントとしては専門的な内容、特に**卒業後すぐに役立つ知識や技術を教えてくれる**こと。私立大学同様、**就職に関して独自のパイプ**を持っていることが多く、就職に有利な点があげられます。その反面、入学前に自分の将来のイメージをかなり具体的に持っていなければ入った後に別のことが学びたくなったとしても変更することが難しいという点もあります。

入試においては、基本的に学科や実技試験を課さず、面接のみで合否を決める学校が多いです。

(例 ヒューマンアカデミー・穴吹デザイン専門学校など)

実技対策コラム vol.2

(文：美術科 福本)

WHY DRAWING ?

——— なんてデッサンするの? ———

●デッサンの目的 ～目的を持ってデッサン(課題)に取り組む～

前号から続いて「デッサン」の話だけをしていると「デッサン」だけがとても大切なものという風に思われるかもしれませんが、そうではありません。**デッサンするということの本来の目的は、まず、「創りたいもの」があり、それをより良くつくるための基礎的技術を身につけるといこと**にあると思います。

漫画家になりたいなら、絵の巧みさだけではなく、魅力的な物語を自由に創りだすことができるよう、本を読んだり、学校の内外で様々な体験をすること。デザイナーになりたいなら、身の回りの様々なデザインに目を向け、情報を収集し、美的な感性を磨くことも必要です。画家や彫刻家などの作家になりたいのなら、美術館やギャラリー、デパートの画廊、画集などで、より良い作品をたくさん見ることが大切です。

自分ひとりの世界で作品をつくと独りよがりの表現になりがちです。友達や先輩の作品を見ることもそうですが、もっと幅広い知見を広げていくために、学校の内外で、自ら動いていかなければ、基町高校の中だけで得られるものは少ないと思います。

●様々な体験をするために

基町高校では、他では体験できない行事やプロジェクトもたくさんあります。その全てに参加することは不可能ですが、自分が「やってみよう」と思っ

た事には積極的に参加する中で得られるものはとても多いと思います。ぜひ、基町高校の恵まれた制作環境や先生方を利用して、充実した、実りある3年間を過ごしてゆきましょう!

eeeeeeeeee 太郎

創表 進路研究のための企画

創造表現コースは進路研究のために行事の企画を行っています。積極的に参加をし、自身の進路選択に活用しましょう。

7.8月の企画

・2年生進路研究セミナー

7月17日(水) ※会場：基町高校
広島市立大学学部長の伊東敏光先生が来校され、彫刻に関する講義をさせていただきます。

・創表「夏の進路研究会」

※会場：基町高校(美大進学相談会を除く)

8月2日 武蔵野美術大学

3日 多摩美術大学

3日 美大進学相談会

(※会場：産業会館)

4日 東京造形大学

・広島市高大連携 広島市立大学日本画講座

8月17・18・19日(予定)

※会場：広島市立大学

文：(美術科 眞野) 発行：基町高校美術科

“To Beeeeeeeeeee continue...”